



# おおにしだより

## 第25号

平成25年6月17日

発行所：栃木市立大平西小学校校長室

衣替えの6月。学区内の通学路にも紫陽花の花が美しく咲き誇り、子どもたちの登下校を優しく見守ってくれています。雨の中では、ひときわ紫陽花が目映ります。薄緑色があり、紫色があり、薄桃色があり、千変万化の様相をみせています。一粒一粒の雨を深く吸い込みながら、花の心を震わせて変化していくように感じられます。

早いもので、一年の折り返し点に入っています。梅雨とともに、日一日と、暑さも増して夏に向かっていく気温の変化の激しい月でもあります。学校では、熱中症対策をはじめ保健衛生には十分に気をつけてまいりたいと考えます。

### 「人権の花」運動について

本校は、平成25年度「人権の花」運動実施校として、栃木・真岡人権啓発活動地域ネットワーク協議会から依頼を受けました。

12日(水)に、大平地区の人権擁護委員さんを本校にお迎えして、花の苗の贈呈式が行われました。全校児童が見守る中、学校側を代表して、園芸美化委員会の児童たちが、マリーゴールドとブルーサルビアを合計110本受け取りました。

贈呈式では、御供正道人権擁護委員さんから、「人権の花」運動についての説明がありました。その中で、「大平西小学校の児童の皆さんが、豊かな心・やさしい心・思いやりの心をもって、大切に育ててほしい」「情操豊かな人間に成長してほしい」などのお話がありました。さっそく、校舎前の花壇に運び、きれいに植え付けしました。とてもかわいい花で、子どもたちは皆、大喜びでした。

なお、本校では教育目標実現のための「学校経営方針」に、『豊かな心と健やかな体を育む～生命尊重・人権尊重の教育の実践』を重点項目としております。「人権の花」運動の趣旨を理解し、みんなで大切に育てて、協力することの大切さや、自然を大切に作る心、そして、美しいものを見て感動する心を育てまいりたいと考えます。

【いただいた花】

【花言葉】

- ☆ ブルーサルビア
- ☆ マリーゴールド

- ◎健康、安全、平和な家庭
- ◎友情、健康、生きる、生命の輝き



## 活力に満ちた楽しい学校・家庭や地域から信頼される学校に！！

☆☆学校評議員さんの意見を学校改善に生かしてまいります。☆☆

学校評議員会は、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開するため、学校長が保護者や地域の方々の意見を幅広く聞くためのものです。昨年度は、学校評議員から、本校の学校運営に関する貴重なご意見・ご助言をたくさんいただくことができ、会の目的を十分に達成することができました。

本年度は、下記のように3回の会議を開催し、テーマに基づいて話し合いを行う予定です。また、運動会やPTAバザー、卒業式等の各種行事にもご出席いただくこととなります。5名の皆様はいずれも、地域住民のうちから学校評議員に相応しい方ばかりで、栃木市教育委員会からの委嘱を受けました。どうぞ、よろしく願いいたします。

平成25年度「学校評議員」の皆様【敬称略】

- 堀 暁夫(再)～富田・子どもを守る会
- 石川 貞夫(再)～西山田・元自治会長
- 富田 カツ(新)～富田・民生委員
- 戸井田光江(新)～真弓・とちぎ未来アシストネット地域コーディネーター
- 畠山ゆかり(新)～下皆川・元PTA会長



- 第1回 平成25年 6月12日(水)  
☆評議員制度に関する共通理解 ☆授業参観 ☆学校経営全般 ☆給食試食会
- 第2回 平成25年10月23日(水)  
☆授業参観 ☆学校評価
- 第3回 平成26年 1月22日(水)  
☆授業参観 ☆学校関係者評価 ☆次年度の教育課程

## 整理整とん！！ 傘の置き方が上手になってきました。



左の写真は、1年生の傘置き場です。6月13日（木）に撮影したのですが、2年生から6年生の各学級も同じように、傘がきちんと並べてありました。

以前は、傘の置き方が上手くできず、乱雑になってしまう学級がありました。そこで、児童指導主任さんが「傘の正しい収納方法」を写真に撮影して傘置き場に掲示するとともに、各学級での実践を呼びかけてくれました。

見た目のよさは勿論ですが、同じ向きにきちんと入れると、自分の傘をスムーズに見つけることができます。また、以前に比べ、傘を丁寧に扱う子が増えているように感じます。

ちょっとした工夫ではありますが、整理整とんの大切さを考えさせることができたようです。今後も、一人一人が「気持ちを込めて」傘を置くことができるように、全校で取り組んでまいりたいと考えます。ご家庭でも「気持ちは形にあらわれる」ことについて、お子さんと話し合っていたいただければ幸いです。

## 西小児童のパワーが全開！！

### 大平地区小学校陸上交歓会で立派な成績をおさめる



6月5日（水）、大平地区小学校陸上交歓会が、大平運動公園を会場に開催されました。薄曇りで絶好のコンディションのもと、各小学校の代表選手が力と技を競い合いました。

お陰様で、本校の子どもたちは皆、素晴らしい力を発揮し、立派な成績をおさめることができました。また、選手の活躍を願い、応援の声を張り上げてくれた子どもたちの態度も立派でした。会場での、生き生きとした「おおにしっ子」の笑顔が、大変印象的でした。

**100m走スタート** 5月7日から猛練習をこなしてきた西小の子どもたち。全員がつらい練習に耐えながら、自分の目標に向かって全力で取り組むことの大切さを学んでくれたことでしょう。この体験が、次への大きなステップとなることを期待します。

## みんなで祝おう！ 「県民の日」

### ふるさと栃木を愛し、誇りに思える県民に

栃木県では、6月15日を「県民の日」としています。今からちょうど140年前の明治6年、当時の栃木県と宇都宮県が合併し、現在のような「栃木県」が誕生しました。

本校では、6月14日（金）「県民の日をみんなで祝いしよう！」を合言葉に、児童会主催による「県民の日集会」を実施しました。

体育館に児童・教職員が集合。この日のために準備をしっかりと行ってきた計画委員会代表児童による、「県民の日」の説明がありました。その後、全員で「県民のうた」を元気いっぱい歌いました。この「県民のうた」は、今から50年前の昭和37年12月25日に制定された歌です。この日のために、各学級では歌の練習をしっかりと行ってききましたので、本番では躍動感溢れる素晴らしい歌声が体育館に響き渡りました。

最後に、栃木県に関する問題に答える「〇×クイズ」を行いました。なかよしグループ毎に相談し合っ、真剣にクイズの答えを考えていました。体育館が子どもたちの嬉しそうなる笑顔でいっぱいになり、大成功のうちに終了いたしました。

子どもたちには、自分の生まれ育った「ふるさと栃木を愛し、誇りに思える県民」に育ってほしいと願っております。

県民の歌 岡 きよし 作詞  
川島 博 作曲  
栃木県県章・県民の歌選定委員会 補作

- とちの葉の 風さわやかに  
晴れわたる 町よいらかよ  
男体は 希望に明けて  
日の光 よもにみなぎる  
栃木県 われらの われらのふるさと
- 鬼怒川の 水きよらかに  
尽くるなき さちよ恵みよ  
生産は 日ごとに伸びて  
躍進の いぶきたくまし  
栃木県 われらの われらのふるさと



### 県民の日〇×クイズ

- 人の和の 夢おおらかに  
盛りあがる 自治よ自由よ  
けんらの 文化にはえて  
とこしえに 若さあふるる  
栃木県 われらの われらのふるさと